

平成30年度

教育委員会  
教育行政点検・評価  
報告書

令和元年8月

大月市教育委員会

## 1 点検評価の趣旨

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正（平成20年4月施行）され、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法律改正を受け、大月市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2 点検・評価の対象

平成30年度に実施した教育委員会事務について、「教育委員会の活動及び管理・執行する事務」に関して14項目、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について、平成27年度に策定された「大月市第2期教育振興基本計画」等に基づき「学校教育の充実」に関して6項目（12小項目）、「生涯学習の充実」に関して6項目（13小項目）を点検・評価項目に選定し、評価対象としました。

## 3 点検・評価の実施方法

### （1）評価の観点

評価基準に基づきその達成状況の観点から評価を行いました。

### （2）評価の主体及び方法

教育行政点検・評価のシートにより、教育委員会事務局から提出された評価資料に基づき、大月市教育委員会としての点検・評価を行いました。

## ○大月市教育委員会教育行政点検・評価に対する概要

評価 A・・・達成している (100%) B・・・ほぼ達成している (約80%)  
 C・・・概ね達成している (約60%) D・・・達成していない (50%以下)

大項目	中項目	小項目	評価	
			当年度	前年度
1 教育委員会の活動及び管理・執行する事務	(1) 教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	A	A
	(2) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	A	A
	(3) 教育委員会と首長の連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	A	A
	(4) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	A	A
	(5) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	A	A
	(6) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A	A
	(7) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		A	A
	(8) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A	A
	(9) 教育委員会の所管に属する学校その他教育機関を設置、または廃止すること			
	(10) 教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること		A	A
	(11) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること		A	A
	(12) 教科用図書採択の決定に関すること		A	A
	(13) 通学区域を設定し、又は変更すること			
	(14) 文化財を指定し、又は指定を解除すること		A	

大項目	中項目	小項目	評価		
			当年度	前年度	
2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任す	1 学校教育の充実	① 確かな学力の向上	(a) 確かな学力の育成	B	B
		② 豊かな心・たくましい心の充実	(a) 道徳・文化活動、読書活動等の推進	A	A
			(b) ふるさと教育の推進	A	B
		③ 健やかな身体の育成	(a) 健康の保持増進と体力の向上	A	A
			(b) 食育・学校給食の充実	A	A
		④ 今日的課題やニーズに応じた教育の推進	(a) 国際理解・情報教育の推進	A	B
			(b) 特別支援教育の充実	A	A
			(c) 教育相談体制・就学支援の充実	A	A
		⑤ 学校教育施設の整備充実	(a) 安全・快適な学校施設への改善	A	A

る 事 務		(b) 学校の適正配置と適正規模の確保と通学バスシステムの充実	A	A	
		(c) 閉校跡地等の活用	B	B	
		⑥ 幼児期における教育の充実	(a) 私立幼稚園運営への支援	B	B
	2 生涯学習の充実	① 地域全体で取り組む教育力の向上	(a) 家庭・地域と一体となった学校の活性化	B	B
			(b) 家庭の教育力の向上	B	B
			(c) 指導者・団体・グループの育成	B	B
			(d) 放課後・休日における子ども活動の充実	A	A
		② 公民館活動の充実	(a) 生涯学習活動の推進	B	B
			(b) 生涯教育施設の整備・充実	B	B
		③ 多様な学習機会の提供	(a) ニーズに対応した学習機会の提供	B	B
(b) 図書館運営の充実			A	A	
④ 文化芸術活動の振興		(a) 文化芸術活動への支援	B	B	
⑤ 生涯スポーツの振興		(a) スポーツ・レクリエーション活動の充実と支援	B	B	
		(b) 施設の整備	C	C	
⑥ 歴史と文化遺産の継承		(a) 文化財の保存・保護及び活用	A	A	
		(b) 伝統行事の保存と継承支援	B	B	

# 1. 教育委員会の活動及び管理・執行する事務

評価 A・・・達成している (100%) B・・・ほぼ達成している (約80%)  
 C・・・概ね達成している (約60%) D・・・達成していない (50%以下)

中項目	小項目	内容	評価	
			当年度	前年度
(1) 教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	定例会12回 臨時会1回開催した。	A	A
(2) 教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携	日常的に情報交換を行い円滑な教育行政の執行に心がけた。	A	A
(3) 教育委員会と首長の連携	教育委員会と首長との意見交換会の実施	4月に総合教育会議を開催し、大月市学校教育の指針について意見交換を実施した。	A	A
(4) 教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	県や北都留、関東甲信越静地区の研修会に参加した(年4回参加)。また、市教委独自の研修活動として「くずはの森」の視察を行った。	A	A
(5) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	学校訪問	5月に4日間、市内小中学校7校、給食センター及び社会教育施設3か所を訪問した。また、11月に3日間、市内小中学校7校を訪問し懇談した。	A	A
(6) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		大月市第2期教育振興基本計画を策定し、実施4年目である。	A	A
(7) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		以下の条例等を改正した。 大月市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例、大月市私立幼稚園就園奨励費補助金交付に関する規則の一部を改正する規則、大月市要保護及び準要保護児童生徒等就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令、大月市学校図書館職員設置費補助金交付要綱の一部を改正する告示、大月市外2村言語障害等通級指導教室設置協議会規約の一部を変更する規約	A	A
(8) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		提出議案については、全て審議を行った。予算編成については、予算査定の段階でその都度、説明を行った。	A	A
(9) 教育委員会の所管に属する学校その他教育機関を設置、または廃止すること		当年度は、該当案件なし。		

(10) 教育委員会及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	退職教員の豊富な経験と知識を活用するため、教育支援室職員や社会教育指導員に任命した。市担講師及び社会教育関係賃金職員については、ほぼ必要とする人員の確保ができた。	A	A
(11) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	平成31年4月の人事異動に関する内申を実行し、加配措置や市内出身者の管理職の登用に努力した。	A	A
(12) 教科用図書の採択の決定に関すること	中学校の道徳の教科用図書採択を実施し、小学校の全教科の教科書採択を実施した。	A	A
(13) 通学区域を設定し、又は変更すること	当年度は、該当案件なし。		
(14) 文化財を指定し、又は指定を解除すること	文化財指定解除1件。	A	

## 2. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価	A・・・達成している (100%)	B・・・ほぼ達成している (約80%)
	C・・・概ね達成している (約60%)	D・・・達成していない (50%以下)

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	① 確かな学力の向上	当年度	B
小項目	(a) 確かな学力の育成	前年度	B
目標及び方策	小・中学校において、学校ごとの教育目標・研究主題を掲げ、子どもの「生きる力」の育成に向けた教育課程の編成に取り組み、その実践において工夫や改善を行う。また、教育委員会においては、学校における授業づくりの支援や学習環境の整備等を行い、学校教育の振興に努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)は、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された。結果については、小学校、中学校共に県平均に対し同等または若干低かった。学力調査の結果とともに、生活環境の調査結果を合わせて、ホームページで公表した。</p> <p>山梨県学力把握調査(国語、算数・数学)については、山梨県教育委員会が県内の小学校の3年生と5年生、中学校の2年生を対象に実施する調査で、結果については、小学校は3年生では県平均を若干上回ったが、5年生は下回った。中学校は県平均と同等または若干下回った。</p> <p>学力向上フォローアップ事業「大月サマースクール」は、夏季休業中を活用して、子どもたちの補習的な学習支援を行うことで、学ぶ楽しさや分かる喜びを味あわせ、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図ることを目的に、教員OBや市担講師、大学生が指導者となり実施した。対象者は小学3年生から中学2年生で、全体では、小学3年生79名、4年生81名、5年生74名、6年生98名、中学1年生54名、2年生27名の計413名が参加し、希望者に対する全体の出席率は、73.7%であった。実施にあたって、参加者が自らの課題を持ち、計画的に学習活動をするように保護者にも働きかけた。</p> <p>「大月っ子楽習サロン」を児童生徒の放課後の補習学習の支援として、通年を通して実施した。対象者は小学3年生から中学3年生で参加児童生徒延べ人数は2,553人であった。同じく今年度から「チャレンジ大月っ子」の家事労働・家庭学習を意欲的に行う取組みを各小中学校で実施した。</p>		
今後の方向性	「大月サマースクール」や「大月っ子楽習サロン」を継続実施し、児童生徒の学力向上につなげていく。		

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	②豊かな心・たくましい心の充実	当年度	A
小項目	(a) 道徳・文化活動、読書活動等の推進	前年度	A
目標及び方策	道徳教育・文化活動の充実を図り、教育活動全般を通じた取り組みや家庭・地域との連携に努める。また、豊かな感性や情操を育むために、体験活動を重視するとともに、文化、芸術に触れる機会を多くつくる。		
評価の詳細(実施内容)	音楽会に対する交通費補助、芸術鑑賞会、総合的な学習の時間などにも補助を行っている。また、読書活動については、学校図書館活動の充実と、各校での全校一斉読書時間の設定などに取り組んだ。平成30年度も、小・中学校及びやまびこ支援学校と合同で音楽発表会を実施し、学校間で交流することができた。		
今後の方向性	「いのち」を大切にすることを基盤にした教育の推進に努めるとともに、豊かな心を育む道徳教育の充実を図る。		
			2

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	②豊かな心・たくましい心の充実	当年度	A
小項目	(b) ふるさと教育の推進	前年度	B
目標及び方策	地域の歴史・伝統・文化・産業・自然等について、地域の方々とふれあいを通して学び、郷土を大切に作る心の育成に努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>新転入教職員を対象に地域素材の発掘を促すため「地域研修会」を実施した。また、小中学生が地域を見つめ、地域を愛する心を持つ機会として「私の好きなところフォト展」を開催した。また、市内各校の学校応援団活動情報交換の推進を活性化するために、「学校応援団コーディネーター情報交換会」を開催し、初狩小学校のコミュニティスクールについて発表した。</p> <p>教育支援室と校長会、教頭会、教育会など教育関係者で「教育支援連携会議」を組織し、教育に関する情報交換を行い、小中学校との連携及び教育支援活動の充実を図った。</p> <p>平成30年度から初狩小学校へ学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとして運営がされた。</p> <p>ふるさと教育の一環として、夏休みを利用して小中高大生による英語体験活動を実施し、外国の方々と英語を通してのコミュニケーション能力の育成に努めた。</p>		
今後の方向性	各種事業を通して、「ふるさと教育」の推進を進める。		
			3

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	③健やかな身体の育成	当年度	A
小項目	(a) 健康の保持増進と体力の向上	前年度	A
目標及び方策	<p>学校では、一学期の定期健康診断の結果をもとに、市や各学校の健康課題を見つけ、課題の解決に向けての取り組みを行っています。</p> <p>体力テスト等により児童・生徒の体力の現状を把握し、効果的に体力を向上させるための健康体力づくり一校一実践運動を推進する。</p>		
評価の詳細(実施内容)	<p>体力の向上については、一校一実践運動を推進しており、平成30年度体力テストにおける総合得点は、全国平均に対し小学校・中学校共に、若干低い結果となった。養護教諭を中心に各学校において健康教育の充実に努めた。市内小中学校の陸上記録会に対する交通費補助なども行っている。</p>		
今後の方向性	<p>学習指導要領における小・中学校の体育・保健体育の授業を通して、スポーツに親しむ習慣や意欲、能力の育成、体力の向上を図る。</p>		
			4

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	③健やかな身体の育成	当年度	A
小項目	(b) 食育・学校給食の充実	前年度	A
目標及び方策	朝食を食べない子どもが増えているなど、家庭での食事が健全なかたちで維持できなくなってきた状況や軽食の増加により、児童・生徒の「食」に係る環境が著しく低下しており、肥満や痩身傾向など、子どもたちの食生活や健康を取り巻く問題が深刻化している。学校給食は子どもたちの心身の健全な発達に資し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける上で大きな役割を担っている。また、食文化の継承や自然の恵みの大切さなどを理解することも重要である。食に関する指導や学校・家庭等との連携、供給体制の充実、地域食材を活用した学校給食を通して食育の推進に努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>学校給食では、学校給食センターの栄養教職員2名が調理方法や味付けなどを工夫した献立に努めた。また、毎月献立予定表と併せて給食だよりに給食目標や食育ニュースを掲載し学校及び全保護者に配布した。ドライシステムの調理場で徹底した衛生管理を行い小学校5校・中学校2校の児童生徒と教職員等に安全で栄養バランスのとれた給食を年間204日、延べ294, 236食提供した。</p> <p>栄養教職員が計画的に学校訪問を実施し、児童生徒と給食を共にしながら食の大切さや重要性を伝えるとともに箸の使い方などの指導も行った。各学校でのPTAによる学校給食試食会や学習会に出向き、学校給食の目的や食全般について説明し、保護者からの食の相談に対応した。また、児童生徒が食に関心を持つきっかけとなるように、献立に旬の食材や郷土料理、季節に合わせた行事食等を積極的に取り入れ、児童生徒からの希望献立による給食を提供するなど工夫した。</p> <p>食物アレルギーアンケートを実施し、栄養教職員、学校長、養護教諭、学校給食主任、学級担任等とアレルギーを持つ児童生徒の保護者が、医師記載の学校生活管理指導表を基に面談して対応を決定し、食物アレルギー除去食を提供した。</p> <p>地産地消として地元の食材も納入可能なものについては積極的に使用した。</p> <p>平成31年度からの学校給食センター業務の一部（調理及び配送業務）の民間委託に向け、各学校において保護者や教職員等への説明を行った。平成31年1月末に委託業者が決定し、4月からの給食実施に向け打合せを重ねて準備を行った。また、学校給食に必要な施設設備の修繕等維持管理を行った。</p>		
今後の方向性	食育・学校給食の充実に努める。		

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日的課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(a) 国際理解・情報教育の推進	前年度	B
目標及び方策	国際平和教育やボランティア活動（災害支援や学用品を送る活動）を行うなど国際理解を深めること。「情報活用能力」を身に付ける。		
評価の詳細（実施内容）	<p>国際理解教育において、外国語指導助手を民間事業者との委託契約により小学校に2名、市が直接雇用した講師を中学校に1名配置した。学校から「授業の教材など工夫されており、熱心に研究されていると感じる」、「指導する上でも先生方とのコミュニケーションをとりやすいと感じる」など高評価を得ている。</p> <p>令和2年度完全実施となる小学校の外国語科について、検討委員会を立ち上げ検討した。情報教育については、学習指導要領が改定され、「情報活用能力」が規定されたことを受け、大月市の教育現場におけるICT教育について検討するため、検討委員会を立ちあげた。この委員会から平成30年9月4日付で提言書の提出を受けるなかで、今後の整備の方向性について道筋をつけた。</p>		
今後の方向性	小学校の英語教育の教科化に伴うAET等の拡充、ICT化の推進を図る。		
			6

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日的課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(b) 特別支援教育の充実	前年度	A
目標及び方策	各学校の特別支援学級においては、障害の重度・重複化や多様化が進んでいる。保護者への相談、指導体制を充実させ、適正な就学を支援していく。		
評価の詳細（実施内容）	<p>就学前に適正な就学先の選択を保護者とともにに行い、総合教育センターの活用と併せて、一人ひとりの状態に応じた教育が受けられるよう支援に努めた。</p> <p>県教育委員会へ特別支援教育の1クラスあたりの教員の配置基準の見直しを要請した。特別支援教育のため、市担講師7名を配置した。</p>		
今後の方向性	適正な就学先の選択ができるよう、相談、指導体制の充実を図る。		
			7

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	④今日の課題やニーズに応じた教育の推進	当年度	A
小項目	(c) 教育相談体制・就学支援の充実	前年度	A
目標及び方策	不登校の率は増加傾向にあります。不登校児童・生徒への相談活動及び適応指導を通して、心の居場所を保障しながら不登校児童・生徒の自立（再登校）を目指し、また、いじめの早期発見・早期対応の徹底を図る。		
評価の詳細（実施内容）	<p>平成30年度の教育支援室への相談件数等は366件(前年度369件)</p> <p>「スクールカウンセラー」は市内2中学校及び2小学校に配置された。連絡会議やケース会議等を開き、不登校の児童・生徒とカウンセラーとの関係が強く築かれ、学校に復帰できた児童・生徒が増えたり、不登校になりかけた児童・生徒が不登校にならずにすんだ。配置されている学校において、スクールカウンセラーは、カウンセリングの専門性を発揮しており、今後においても配置を強く希望している。</p> <p>就学児の適正な教育支援のため、総合教育センター・学校・市保健介護課（発達障害者支援体制強化事業）との連携を図り、幼稚園・保育園(所)の年中・年長幼児の訪問観察相談を実施するなかで適正就学支援の充実に努めた。</p>		
今後の方向性	個々の児童・生徒、家庭の状況に応じた支援体制の強化・充実及び早期の対応に努める。		
			8

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	A
小項目	(a) 安全・快適な学校施設への改善	前年度	A
目標及び方策	学校施設の改修等を計画的に進め、児童・生徒の安全で快適な教育環境の整備に努める。		
評価の詳細（実施内容）	<p>小学校における不登校の児童・生徒を支援する教育支援センター（適応指導教室）について、平成31年4月1日から開所に向けて施設整備に準備に努めた。大月東中学校に新たに一つの教室を特別支援教室として利用するため、空き教室の内装改装工事を実施した。初狩小・鳥沢小においては、漏水が発生したが、修繕工事を実施した。また、鳥沢小学校のトイレについて、和式トイレを洋式トイレ化し、児童の快適な教育環境の整備に努めた。</p>		
今後の方向性	引き続き、安全で快適な教育環境の構築を目指す。		
			9

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	A
小項目	(b) 学校の適正配置と適正規模の確保と通学バスシステムの充実	前年度	A
目標及び方策	<p>小・中学校の適正配置を進める中で、適正規模を確保し、多様な人間関係の中での児童・生徒の良い意味での競争心や社会性の育成を図る。また、一定規模を要する集団活動や学校行事の充実、教職員の確保を図っていく。</p> <p>通学システムについては、原則として、現在のバス路線の運行経路を使用して、小学校にはスクールバス、中学校については、路線バスで対応している。通学バスと併せて、市民の交通手段も含めたバス交通の最善な方法を継続的に考えていく。</p> <p>また、児童・生徒が安全に安心して通学できるよう、保護者・学校・バス事業者等と協議を行いながら、バスの乗降場所や通学路の安全確保に努める。</p>		
評価の詳細(実施内容)	通学バスについて、保護者、学校及び関係機関と協議を行い、運行時間等について決定した。		
今後の方向性	引き続き、児童生徒の登下校の安全確保を図る。		
			10

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑤学校教育施設の整備充実	当年度	B
小項目	(c) 閉校跡地等の活用	前年度	B
目標及び方策	学校跡地・施設の利活用について基本的な考え方及び方向性について検討し、利用転換が早期に図られるように努める。		
評価の詳細(実施内容)	<p>旧下和田小学校について、山陽精工（株）に売却した。医療機器組立工場の建設が終了し、平成30年7月18日落成式が実施された。</p> <p>旧大月西小学校については、企業からの問い合わせがあり、施設利活用のため、庁内において協議を進めており、現在も企業と協議進行中である。</p> <p>旧畑倉小学校においては、産業観光課が窓口となり、企業側と協議を進めていたが、企業より計画辞退の申し出があり、誘致が不可能となった。</p>		
今後の方向性	跡地活用について、協議に柔軟に対応できるよう、跡地に係る現状と課題を整理し、適宜対応していく。		
			11

大項目	1. 学校教育の充実	評 価	
中項目	⑥幼児期における教育の充実	当年度	B
小項目	(a) 私立幼稚園運営への支援	前年度	B
目標及び方策	幼児教育の充実のため、私立幼稚園への支援を行う。		
評価の詳細(実施内容)	市内の私立幼稚園3園に対し、1園28万円の運営補助金を交付した。また、幼稚園就園奨励費の補助額を国基準に改正した(平成31年度から施行)。		
今後の方向性	幼児期における教育は、生涯にわたる学習活動を継続していく基礎となるため、連携や支援を推進する。		
1 2			

大項目	2. 生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(a) 家庭・地域と一体となった学校の活性化	前年度	B
目標及び方策	地域の方々の参画を得て、放課後・休日等において子どもたちが地域の中で、安全・安心して様々な活動を行う場づくりを推進し、地域全体で支援する体制づくりに努める。		
評価の詳細(実施内容)	公民館単位の支部で青少年育成推進員を中心に育成会の役員、見守りボランティアなどが集まり支部会議を開催し、育成会など地域での行事の情報共有や市民会議の活動の周知を図った。 青少年育成大月市民会議による学校訪問を行い地域の子どもに対する課題の共有化を図った。		
今後の方向性	地域の子どもをみんなで育てていくという意識を大切に、家庭・地域・学校が情報共有し連携を図り、地域全体で教育に取り組む。		
1 3			

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(b) 家庭の教育力の向上	前年度	B
目標及び方策	家庭の教育力の向上に向けた支援の充実を図る。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>青少年育成大月市民会議運営委員、推進委員、育成会役員等で支部会議を開催し地域の子どもたちについて、情報交換を行った。</p> <p>図書館においては絵本を通しての親子の触れ合いを推奨するため、ボランティアによる読み聞かせの会や9か月児健診時にブックスタート事業を実施した。</p> <p>社会教育担当では、夏休み等子ども体験教室「わいわい道中」を実施し、桂川ウェルネスパークを拠点に木工教室、野菜収穫体験、葉っぱの叩き初め体験などを行い普段学校では勉強できない体験や他校の児童と交流する活動を行った。また、親子体験教室では、親子で勾玉の学習やものづくりに取り組み親子のふれあいを深めた。</p> <p>地区公民館においては、親子で参加できる事業や地域全体の触れ合いができる事業の開催を継続して呼びかけており、親子ふれあい軽スポーツ大会や町民文化祭、ふれあい夏祭りなどが開催されている。</p>		
今後の方向性	親子で学習や体験できる各種事業を実施し、家庭教育の支援の充実を図る。		
14			

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	B
小項目	(c) 指導者・団体・グループの育成	前年度	B
目標及び方策	地域の優れた人材を活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」楽しく有意義な学習ができるように指導者の確保及び活用を行う。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>ふるさと教育の推進を図るため広く人材の発掘・育成を行うことを目的として、ふるさと大月教育人材バンクを設置し、平成26年度から運用が開始されている。社会教育委員会、公民館連絡協議会・主事会議、放課後子どもプラン運営委員会等での広報や市内小中学校への資料の配布等行っているが、利用はなかった。</p>		
今後の方向性	学習活動や地域活動の充実を推進するため、地域の優れた人材の発掘や活用を図る。		
15			

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	①地域全体で取り組む教育力の向上	当年度	A
小項目	(d) 放課後・休日における子ども活動の充実	前年度	A
目標及び方策	放課後の子どもの安全で健やかな居場所づくりを進めるため地域の各種団体などの協力を得ながら体験・交流活動を進める。		
評価の詳細(実施内容)	安全安心な活動拠点を設け、子どもたちが遊びながら楽しく学べることを目的とした、放課後子ども総合プランの推進を図るとともに、合同発表会を開催し放課後・休日の子ども活動の周知を図った。 夏休み等子ども体験教室「わいわい道中」を実施し、野菜の収穫体験、葉っぱの叩き染め体験、夜の里山散策や自分で採取した材料で箸と皿づくり体験などを市内小学校4年から6年の児童が他校児童との交流を図った。		
今後の方向性	地域の方々の参画を得て、地域の自然に親しむ活動など、幅広い活動や活動内容の充実を図る。		
			16

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	②公民館活動の充実	当年度	B
小項目	(a) 生涯学習活動の推進	前年度	B
目標及び方策	学びの充実を図り、学び得た成果を地域社会に還元できるシステムの構築や各地区公民館間の連携と交流を図り、生涯学習の推進に取り組む。		
評価の詳細(実施内容)	昨年と同様、地区公民館を中心に生涯学習教室の充実を図り、地域力を高め、地域の活性化づくりに取り組んだ。各地区公民館の実績報告をまとめ公民館間で情報の共有に務めた。 学習機会の情報を公開するため、市のホームページへの生涯学習情報の掲載と更新作業を行った。 生涯学習推進大会では、文化活動等の地域資源を見つめ直し、関心を持つことで「学び」を始め、人づくり、地域づくりを通して未来に繋がる地域社会を目指し、【見つめ直そう！地域の力 ～見つめよう！地域の未来】をテーマとして開催した。		
今後の方向性	情報の共有、発信を図り、生涯学習の課題やニーズについて連携して研究・学習を行い生涯学習の推進に取り組む。		
			17

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	②公民館活動の充実	当年度	B
小項目	(b)生涯教育施設の整備・充実	前年度	B
目標及び方策	社会教育施設の老朽化に対する対策を検討し、市民に利用しやすいあり方を検討する。		
評価の詳細(実施内容)	施設の延命化を図るため、計画的に修繕箇所の優先順位を定め対応している。中央公民館においては、大ホール吊物設備修繕工事他16件の不具合箇所の修繕を行った。地区公民館では真木公民館床張替修繕他4件の修繕を行った。地区公民館分館施設の補修に対し、2件の補助金の交付を行った。		
今後の方向性	今後も施設の延命化を図り、優先順位を定め対応し、市民が利用しやすい施設となるよう整備を図る。		
			18

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	③多様な学習機会の提供	当年度	B
小項目	(a)ニーズに対応した学習機会の提供	前年度	B
目標及び方策	市民の学習ニーズの把握に努め、地域間や世代間の交流が図れる学習機会の充実を推進する。		
評価の詳細(実施内容)	多様化するニーズの内容の把握を行うとともに、ニーズに対応した学習機会の提供に取り組んだ。地区公民館では、三世代が交流するペタンク大会や園児と高齢者が芋掘り体験をする事業が行われた。また、高齢者学級等では介護予防講座や消費者トラブルの対処法を学ぶ講座など時代の要請に則した身近な課題をテーマにした講座等を開催した。		
今後の方向性	社会の動向やニーズに対応した講座等の開催。少子化、高齢化が進む中、世代間が交流し、生き生きと暮らすための学習機会の充実を図る。		
			19

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	③多様な学習機会の提供	当年度	A
小項目	(b) 図書館運営の充実	前年度	A
目標及び方策	市民の多様なライフスタイル、考え方に対応できる様々な資料や情報を収集、提供し、図書館活動の充実を図り、誰もが利用しやすい市民の交流の場を提供する。		
評価の詳細(実施内容)	図書館運営に関し一般の方から意見を聴く機会として図書館運営協議会を開催した。館長企画事業として、子どもの感性を引き出すワークショップ、パップンピットクラブを開催した。また、映像ホールにおいて「落合恵子」氏による講演会、アリスのティーブックトークを開催した。1階カウンター横・展示架、2階展示ホールにおいて、新着図書と様々なテーマ図書の紹介をした。会議室の一般利用促進に努めた。		
今後の方向性	今後も市民の様々な要望に対応できるよう資料や情報収集、各種展示・講座を開催し、市民が利用しやすい交流の場を提供する。		
			20

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	④文化芸術活動の振興	当年度	B
小項目	(a) 文化芸術活動への支援	前年度	B
目標及び方策	市民により多くの文化芸術活動が行われている。こうした活動が継続的に行われ、豊かな感性と創造性を育むことができるよう支援する。		
評価の詳細(実施内容)	市民文化の向上と文化活動の推進を図るため第52回大月市文化祭、市政施行64周年記念祝賀協賛文化事業を開催した。 宝くじ財団の助成事業を活用し「宝くじまちの音楽会 南こうせつ with ウーファン ころの歌コンサート」、陸上自衛隊「大月ふれあいコンサート」を開催した。 また、既存の自主グループの活動発表の機会として第56回大月市生涯学習推進大会にあわせて中央公民館文化教室生徒作品展を市民会館2階ギャラリーにおいて行った。		
今後の方向性	市民による文化芸術活動が展開され、継続されるよう活動機会の提供や各種事業の開催をし、文化芸術活動の振興を支援する。		
			21

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑤生涯スポーツの振興	当年度	B
小項目	(a) スポーツ・レクリエーション活動の充実と支援	前年度	B
目標及び方策	だれでも気軽に参加し楽しめる、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努める。		
評価の詳細 (実施内容)	<p>スポーツ活動を通して、健康の保持増進、体力の向上を図ると共に、人と人との交流を深めるスポーツ・レクリエーション活動を推進した。</p> <p>スポーツ育成振興事業として、市民参加の10地区体育会対抗の市体育祭を開催、市民及び県内から多くの選手が参加した駅伝競走大会の実施、市内小学生を対象にした卓球大会を実施し、幅広い年代のスポーツ活動を推進した。</p> <p>体育協会加盟団体の協力のもと、弓道教室やバレーボール教室など各種スポーツ教室を開催した。</p> <p>各種団体の育成・奨励として、体育協会、スポーツ少年団、小中体連北都留支部へ事業活動費の助成をおこなった。また、個人及びチームとして全国大会等へ出場する選手への旅費等の助成を行った。</p> <p>地域の指導者及びリーダーの育成を担うスポーツ推進委員については、資質の向上を目的に研修を行い、各地区のスポーツ行事等で活躍いただくと共に、大月市健やかスポーツクラブと連携し、子どもから高齢者までの体力維持に努めた。</p>		
今後の方向性	幅広い年代へのスポーツ活動参加促進を、各事業を通して多くの市民へ発信して行く。スポーツが苦手な方にも、親しみや楽しさを感じていただけるような、レクリエーション活動を検討して行く。		

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑤生涯スポーツの振興	当年度	C
小項目	(b) 施設の整備	前年度	C
目標及び方策	身近にスポーツを親しめる環境づくりとして施設の維持管理に努め、老朽化した施設の改修又は統廃合など、引き続き、適切な施設配置を検討する。		
評価の詳細(実施内容)	<p>各施設とも利用者の安全のため、でき得る限りの整備に務めた。</p> <p>学校体育施設開放管理事業では、閉校した学校の夜間照明及び体育館の照明の電球交換やトイレの漏水や器具修繕を行った。</p> <p>勤労者体育センターでは、吊下げ式バスケットゴールのワイヤー巻上機故障により、使用中止となっていたが修繕を行った。また、昨年度に引き続き、雨漏りの対応について、簡易的な雨樋の修繕対応と定期的な雨樋の清掃を行った。</p> <p>市民総合体育館では、玄関ポーチ防水他修繕を行い、雨漏り対応を完了した。また、定期的に職員による雨樋の清掃を行い機能維持に努めた。</p> <p>スポーツ推進審議会を平成30年10月2日に発足し、老朽化が著しく、耐震補強が施されていない、勤労青年センター及び勤労者体育センターの今後の対応についてご審議をいただいた。体育センターについては、市民が利用する体育施設として、必要な施設であるとのご意見をいただきましたが、予算的な問題により存続は難しいと言う教育委員会の方針から、閉館を予定したスケジュールを提案させていただき、利用者に係る諸問題を解決しながら進めることをご理解をいただき、閉館に向けてスケジュールを進めて行くこととなった。</p>		
今後の方向性	<p>施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な施設が増える一方で、依然として修繕予算の確保は難しく、早急な修繕対応が必要な施設の順位を検討しながら対応しており、規模の大きな修繕については、長期的な計画対応も検討する。</p> <p>また、勤労青年センター及び勤労者体育センターについては、スポーツ推進審議会の結果を踏まえ、協議を進めて行く。</p>		

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑥歴史と文化遺産の継承	当年度	A
小項目	(a) 文化財の保存・保護及び活用	前年度	A
目標及び方策	文化財の保存と活用を通して先人が積み重ねてきた歴史を守り、継承していきながら地域文化の創造に寄与し、文化財保護思想の高揚を図る。		
評価の詳細(実施内容)	<p>重要文化財星野家住宅では、所有者により毎年春と秋に「本陣コンサート」が開催され、積極的な活用が行われている。所有者の維持管理の負担を軽減するため補助制度を活用し、防災設備を設置し、文化財の保護に努めた。また、市指定天然記念物浅利の千本マツの枯れ予防薬剤散布及び投与を行った。</p> <p>郷土の歴史探検ツアーを開催し、郷土の歴史や文化財について説明し、郷土の良さを再発見する機会の提供を行った。</p> <p>大月市出前講座の文化財について大月短大、ことぶき勸学院、小中学校、公民館事業などから申請があり、延18回開催した。</p>		
今後の方向性	計画的に文化財の保存・保護につとめ、文化財を活用した事業を開催し、市民が文化財に親しみやすい環境づくりに努める。		
			24

大項目	2.生涯学習の充実	評 価	
中項目	⑥歴史と文化遺産の継承	当年度	B
小項目	(b) 伝統行事の保存と継承支援	前年度	B
目標及び方策	地域に残る伝統芸能・祭事のほか、伝統的な行事の継承・保存をしていくため後継者の育成に向けた活動などを支援する。		
評価の詳細(実施内容)	<p>大月市放課後子どもプランの子ども活動合同発表会において、笹子追分人形クラブによる笹子追分人形芝居の発表を行った。</p> <p>各地区育成会による地域のどんど焼きや地域に残る祭事への子どもの参加、公民館活動による伝統舞踊の継承事業の実施について助成を行った。</p>		
今後の方向性	地域で継承されている伝統芸能・祭事・行事が継承・保存されるよう発表の場の提供と支援を継続する。		
			25